



◆中学校3年生

【国語】

◆3年前の課題

- ・「漢字を正しく書いたり読んだり、語句を適切に使う」力の育成
- ・「自分の考えを文章にしたリ、説明したりする」力の育成

◆成果と課題

基礎的な知識・技能の面では、ほぼすべての領域で全国平均と同様、もしくはそれを上回っているなど、学習した内容が定着しています。一方、数学的に表現したり、数学的に表現された事柄を読み取ったりすることについては課題が見られます。

◆成果と課題

漢字や語句を書くことなど、言語に関する領域や、伝えたい事柄を明確にして書くことや、必要な情報が相手に伝わるように説明することなどの内容が定着しています。一方、自分の考えを明確に話したり、話の内容を的確に聞き取ったりすることについては課題が見られます。

【理科】※今回が初実施

◆3年前の課題

- ・基礎的な知識・技能の育成
- ・筋道を立てて、学習したことを活用して問題解決する力の育成

◆成果と課題

これは、各学校が自校の課題を明確にするとともに、その解決に向けた取り組みが少しずつ定着していると捉えています。しかし一方では、前回の課題

が改善されていない状況もあり、その背景や原因等についてしっかりと分析し、具体的な手立てを講じる必要があります。教育委員会としても学校と協議をしていきたいと考えています。

生活習慣や学習状況に関する調査結果について

◆家庭の様子

小中学校とも「将来の夢や目標を持っている」「自分には良いところがある」「学校で友達と会うのは楽しいと思う」「家の手伝いをしている」「あいさつをしている」などの項目は、全国や県の平均を上回っています。これは、小学校では平成21年度の結果とほぼ同じであり、中学校では伸びています。目標を持って生活するという姿が見られはじめました。

一方、小中学校とも3年前と同様に、「普段(月々金)、一日に二時間以上テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりしている」の項目で課題が見られます。

◆学習の様子

小中学校とも、各教科について「教科の勉強は大切だと思う」「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」などの項目で高い結果がでています。これは、学習に対して一生懸命に取り組もうとする姿のあらわれです。

この調査結果は、対象学年や教科が限られているため、調査結果がそのまま南部町の児童生徒の実態とは言えませんが、この結果を家庭・地域・学校・関係機関が共有し、今後の取り組みに活かしていきたいと思っています。

